

平成 30 年度の教育活動等に関する学校評価

教育目標：1)保育内容の 充実、2)大学・地域との連携、3)幼稚園運営の強化

九州女子大学附属折尾幼稚園

No.	基本目標	【業務事業】 具体的施策	今年度の取組に対する自己評価	学校関係者の評価
1	保育内容の充実	[保育のスキルの向上] 様々なテーマに合致する園内研修の実施	計画的な研修をするために、園内・園外研修並びに三園合同研修会に全員参加してきた。また、個人研修に参加後は、研修内容の報告を行い他の保育者にも共通理解できる場を持ち、園全体の質の向上を図った。	生活習慣の見直し（歯磨きなど）幼稚園ではしっかりとされている。虐待に対しての、子どもたちの様子の把握が出来ている。特別支援について、保護者にどのような関わりをしているのか、園ではどのように対応しているのか話し合った。
2		[体験型保育の充実] 園の特色を生かした教育課程の編成	豊かな実体験を経験し、体験型保育（科学遊び・野菜の栽培・芋苗植え・芋ほり・もちつき等）の実施をしてきた。強制的に教えるのではなく、子どもたちが楽しんで行う事を基本に体験させてきた。植物の育ちを知り、収穫・調理という流れの中で、体を使って体験することにより、食への興味関心に繋げてきた。	小学校でいう、生活科からの流れで失敗しながら学んでいくこともあるし、家庭では出来ない事なので、体験型保育を今後も続けていって欲しい。
3	大学・地域との連携	[地域の福祉施設等との連携] 園行事への参加、および地域団体との交流の促進	福祉施設「いきいき良花居倶楽部」への訪問を掲げていたが、重度の入居者様が多い為、今年度は見送ることとなった。地域の行事「折尾祭り」へ年長組が参加し、市民センターの子育てネットワーク会議へ参加するなど、地域の信頼と理解を深め開かれた幼稚園になるよう努めてきた。勤労感謝の時は、地域の警察署や消防署・東筑高校などへ出向き感謝の気持ちを伝えてきた。	地域の行事に参加することで、引っ込み思案な子どもたちの自信につながっていると思うので、これからも参加して欲しいと思う。
4		[大学・地域のイベント等への参加] 大学・地域のイベント等への参加による幼稚園の理解促進	大学の音楽発表会や田植えなどにも参加することで、地域に理解される幼稚園になるよう構築してきた。年長親子クッキングでは、大学の調理室を借り大学教授の協力の元、行った。反省点は多々あるが、学生が様子を見学に来るなど幼稚園の理解促進に繋げてきた。	親子で行うクッキングでは、衛生面についての課題があると思う。
5		[大学教員との連携] 大学教員との連携・協働による教員の質の向上	幼児教育の課題と共に大学教員との連携を図り、専門的知識を習得し保育の質の向上に努めた。科学遊びや造形教室など、専門の大学教員から子ども職員も学び、新たな発見をみつけ気づき、専門的知識を習得し、保育の質の向上に努めた。	科学遊びは、知的好奇心の学びへとつながるので今後も続けて欲しい。大学教員の体育教室なので、もっと沢山の種類の体育を経験して欲しい。

6		<p>[学生との連携] 学生企画のイベント等への参加、および学生とのコラボ企画による園のアピール</p>	<p>学生の行事等への参加を促進し、教員・子どもと接する機会を可能な限り提供した。 主に、幼稚園行事のボランティアではあるが、子どもたちも喜び、学生との連携も取れ、教職員全体で取り組むことが出来た。</p>	<p>学生ボランティアさんがいるお蔭で保護者側は大変助かっている。</p>
7		<p>[未就園児教室の充実] プログラムの提供、園行事への参加促進、ならびにクラス見学等への実施</p>	<p>4月に未就園児教室の見直し、新規計画の検討を行い、月に一度、未就園児教室「ふれあい広場」を開催して、季節の行事ならびに誕生会を行い、他の子どもたちとも一緒に過ごすことで、幼稚園に慣れてもらった。園児が踊りや歌など披露することで、園児との触れ合いも楽しんでいただいた。毎月、楽しみに参加して、人数も多かったが、入園へつながる事が出来なかった事が反省点である。</p>	<p>私立幼稚園なので、幼稚園の特色を生かした広報活動の一つとして、マスコミの力を借りるのはどうか。</p>
8	幼稚園運営の強化	<p>[ホームページ等による広報活動の推進] ネット社会を活用した情報発信により、保護者の関心を生み出し未就園児教室に参加を促し、信頼関係を構築し入園に繋げる。</p>	<p>ホームページの更新に心がけ、行事ごとに写真などで発信するようになった。また、ショッピングセンター等へ「ふれあい広場」の案内を掲載してもらい、幼稚園保護者にも、要項を配布し情報発信を行った。「ふれあい広場」に来ている保護者向けにも、前月の様子や今月の行事参加予定、お知らせなどのお便りを配布し、本園の入園に繋げてきた。</p>	<p>情報発信では、もっとほかの店舗にも張り紙をさせてもらった方がよいと思う。園バスがドラえもんバスで、目立つので園バスにも掲載してはどうか。</p>
9		<p>[幼小連携プログラムの策定] 幼小連携を強化し、幼稚園の存在をアピール</p>	<p>幼小連携プログラムを年度当初に見直しを行い、各小学校とのスケジュール等の調整・協議を図り、スムーズな小学校就学に向けた連携がとれた。</p>	<p>小1プログラムの幼稚園と小学校との段差をなくすためにも、回数や時期・内容などを今後も年度初めに計画を立てていきたいと思います。</p>